

## 2 一般研修

### ① 教科等研修講座

#### 小学校教科等研修講座（国語科）

教科等指導員 荻野小学校 教諭 山下 拓志郎

担当指導主事 八束 伸明

キーワード：主体的・対話的で深い学び ワークシート 構造的板書 話し合い活動

#### 1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
1月30日（火）	荻野小学校 山下 拓志郎 教諭	荻野小学校 4年3組教室・授業 多目的室・事後研究会	「感じたこと読み取ったことを音読で表そう（第4学年）」

#### 2 主な内容

##### (1) 「感じたこと読み取ったことを音読で表そう（第4学年）」

目的に合わせて物語を読ませ、表現活動につなげていく単元づくりに取り組んだ。また、発達段階に合わせた思考力を育てることや、授業に主体的に参加すること、対話的に学び合いが行われることをねらいとした。

##### ① 育てる思考力を明らかにした単元

他教科の思考力や表現力を支える基幹教科として、身につけさせるべき思考力を「比較・関係づける」ことと設定し、物語を読み取る過程に、それらの力が使われるように単元をデザインした。

##### ② 「読み取り」と「音読」をつなげるワークシート

物語のテキスト全文をワークシートにして、そこに読み取ったことや感じ取ったことを書かせた。また、感じ取ったことを聞き手に伝えるには、どのように音読すればよいかを考えさせ書かせた。このワークシートを音読台本とすることで読解と表現をつなげた。

##### ③ 思考力を育てる構造的板書

「比較・関係づける」思考力の育成を目指して、板書を構造化した。物語の山場となる場面の読み取りにおいて、登場人物とキーアイテムのつながりと変化が視覚的に捉えられる板書とした。

##### ④ 主体的・対話的な授業

主体的に授業に参加できるように、全ての児童に自分の考えを作らせる時間を確保した。また、ペアやクラス全体の話し合い活動においては、ルールの確立と経験の充実について1年間取り組んだ。授業の「めあて」を具体的にするなど工夫をして、全ての児童が参加できることをねらった。



### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- ① 主体的・対話的な学びの実現に向けた一つのあり方を「単元づくり」「ワークシートづくり」などを観点として示すことができた。
- ② 初任者に授業を公開し事後研究会を持つことで、国語科への意欲を喚起し、授業づくりについて考えるきっかけを与えることができた。

#### (2) 課題

- ① 国語科における「深い学びとは何か」ということや、国語科特有の「ものの見方・考え方とは何か」ということについて研究・発信していく必要がある。
- ② 物語文以外のテキストや、「読む」以外の領域についても研究・発信していく必要がある。